

No.221

2018年  
11月号

# さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

## 第72回 読書週間

### 「ホッと一息 本と一息」

10月27日から11月9日は読書週間です。今年の標語は「ホッと一息 本と一息」です。秋の夜長に本を片手にホッと一息つきませんか？

図書館では「読書週間」と「読書の秋」にちなんで11月は企画展示のほかに「読書クイズ」を行います。ぜひお越しください。



## ★集まれ!!小中学生

### 「図書館読書クイズ」

11月29日(木)まで

今年も恒例行事の「図書館読書クイズ」を開催します。

対象は**小中学生**。図書館の本で調べて、教えてください。全問正解者には記念品をプレゼント！(正解者多数の場合は抽選となります。)

詳しくは図書館窓口で!!



## 展示のご案内

### ★ メイン展示

### 「家族の時間」

展示期間 11月29日(木)まで

メイン展示は「家族の時間」と題して、

- ・親子であそぼう
- ・あったか料理・家庭料理
- ・家族の小説

という3つのコーナーを設けました。



### ●メイン展示図書(抜粋)

「家族がよろこぶダンボール工作」 「家族写真」  
「カノウユミコの野菜だけでおいしいスープ」  
「しろくまのパンツ」 「オー！ファーザー」

### ★読書講座

### 『読み聞かせ講座』

絵本の読み聞かせに興味のある方、ボランティアをしてみたい方…、いっしょに学んでみませんか？絵本の魅力についても語りあってみませんか？初めての方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。事前申込は不要です。

日 時：平成30年11月17日(土)13時30分～15時

場 所：宿毛文教センター 2階 視聴覚室

講 師：秋本美津さん

参加費：無料

# 読んでみませんか？

## -新着図書のご案内-

(一般)

### 「となりの脳世界」

村田沙耶香・著  
朝日新聞出版

村田さんから見る世界はとても楽しい。こそめスープ、正座を逆にする、ヒューの才能など、そんな発想があるんだと思う連続でした。日常と想像のあれこれが書かれています。

村田さんのピュアな心、とても可愛らしく思える作品ばかりです。もっともっと読みたくなるエッセイ集。

(岡村)

(一般)

### 「世界のかawaii本の街」

アレックス・ジョンソン・著  
エクスナレッジ

この本は、世界中にある本の街を集めた一冊です。

街の歴史とともに紹介しています。

その中の一つ、リリプットハンメルという街は小さな遊園地です。ミニチュアで再現された街の中にある、子ども以外立ち入り禁止の図書館は、遊び心いっぱいの図書館になっています。

本の街、本好きなら一度は行ってみたいくなるのではないのでしょうか。

(尾崎)

(児童)

### 「新しい心のバリアフリーずかん」

中野泰志・監修  
ほるぷ出版

“バリアフリー”のバリアとは“障壁”のこと。ある人には簡単なことでも、別の人には困難だったり。そんなバリアをなくした状態を“バリアフリー”といいます。そして、“心”のバリアフリーとは、そのバリアに気づいてあげること。

本書では、町・家の中・学校などいろんなシーンを示しながら“バリア”に気づき、共感を学んでいきます。“バリアフリー社会”の理解のために、ぜひ子どもたちに読んでもらいたい一冊です。

(山口)

(児童)

### 「どうぶつどんどん」

たしろちさと・文／絵  
大日本図書

ぞうさんが…ばっしーん！しまうまがみんなで走ると…ドドドド!!まだまだいっぱいどうぶつたちにあいにいくよ。

文章は短くりズムよく、いろいろな動物が出てきては次へバトンタッチ。動物たちの愛くるしい中に野性味あふれる姿をのぞくことができる一冊。小さい子どもも間違いなくくぎづけ！子育て中に大活躍してくれる絵本です。

(樫田)

## 「宿毛映画塾再び」

山下量子

宿毛市出身の映画プロデューサー、松岡周作先生が開催する宿毛映画塾が今年も行われた。前回参加して、初めて監督を経験させてもらった私は、以降、撮影や編集の楽しさにハマった。まつりのスタッフや仕事と重なるけれども、今年も参加することにした。

前回の脚本は「なくしもの」というコミュニケーション障害の男の子の話だったのだが、監督して思ったことは、自分の脚本を撮りたいということだった。というのは、やはり宿毛市のここを撮りたい、などと地元ならではの思い入れがあるため、自由な設定でやれたらより楽しいだろうなと思ったのだ。なので、脚本を書けるように今年は、監督、脚本、俳優の3つの中で脚本コースを選択した。

台風との兼ね合いで一部プログラムを変更しながらも開催した市民祭宿毛まつりのスタッフをやりながら、仕事場と映画塾の開催場所の楠山を行き来した。

脚本の条件は、宿毛を舞台に描くこと。

そして俳優コースの人すべてに出番があること。

ラッキーだった事は、数々の映画をプロデュースしてきた松岡先生に脚本を見てもらえるだけでもまたとない機会なのに、「ソロモンの偽証」で脚本賞を受賞した真辺克彦先生や、その真辺氏と知り合いでもあるという「時をかける少女」などの映画監督、谷口正晃先生が一日先に現地入りしていたため、3人の先生に脚本を指導していただけたことだ。

プロデューサー宛に脚本が送られてくることは沢山あるという。でも実際は、余程でない、素人の脚本が読まれることは無いのだという。なので、自分の書いた脚本がこんなすごい先生方に宿毛にいながらにして見てもらえることのすごさに、宿毛市と映画塾にただただ感謝だった。

松岡先生は、脚本の審査員をやっていたり、プロデューサーとしての視点があるからだろうか、全体のバランスとか、リズムや実際に撮影可能かどうか尺などを見てくれた。

真辺先生は、無駄を見極める力が強い。何が必要で何がいらぬかを書き出して見極めてくれた。

谷口先生は、物語の人物の行動の相互性を明らかにするプロだった。その動作は本当にうまれるか、論理立っているか。

どの先生も、夜中になっても真剣に生徒の作品を見てくださった。

先生の意見を聞いて、自分の脚本の一部を思い切って切り捨てたり、修正を加えていくこと

で、夜の10時が朝2時に、朝の8時にと、どんどん時間が過ぎていった。正直、祭り最終日の片づけで疲れ切っていた時は、体は重く、思考もうまく働かなくて投げ出して寝てしまっていた。けれど、書き上げたい一心でパソコンに向かった。

今回、脚本を学んで驚いたのは、脚本というのは、綿密な整合性で作り上げた隙のないものであるということだ。それはまるで、建物の土台のようなものだと思う。土台がしっかりしていなければ、もちろんどんなに綺麗に建物を建てたってすぐに崩れてしまう。そのため、しっかりと基礎作りのために、人物のキャラクター（性格や背景・思考回路）をしっかりと定め、次に適正な行動を示す。あることが作用したら、彼、彼女はどのような行動をするのか。逆に、こうした態度を彼、彼女にさせるためには、どういった状況が起こらなければならないか。その理論付けは、綿密な動線の計算で玉を穴に落とすビリヤードの計算のように感じた。

そしてどの先生も、まるでそこに登場人物が実際に存在しているかのように、ものすごく細かい描写イメージをしていた。しっかりと人物像に命を与えていた。その想像力は経験ゆえなのか、プロだからなのか、ただただすごいと私は感動した。

私の力ではとても足りない。けれども、できる限り取り組んで出来上がった脚本「HOME」は、嬉しいことに、宿毛映画塾実習作品の撮影用として採用されたのだった。体力の疲れは限界を超えていたが、その知らせに疲れはふっとんだ。そこからは、会場の掃除や小道具の制作・準備など昨年同様、怒涛のような忙しさだった。しかし無事に撮影を終え、現在は監督が編集している。作品の完成が心から待ち遠しい。そんな忙しく幸せな10月だった。



宿毛映画塾 撮影風景

## ～新着図書のご紹介～

### 一般図書



- 0 「世界のかawaii本の街」 アレックス・ジョンソン
- 1 「がんばらない成長論」 心屋仁之助
- 2 「語り継ぐこの国のかたち」 半藤一利
- 3 「働き方改革のすべて」 岡崎淳一
- 4 「絶滅できない動物たち」 M. R. オコナー
- 5 「おもてなしの基本とコツ」 佐藤紀子
- 6 「本社は田舎に限る」 吉田基晴
- 7 「『その後』のゲゲゲの女房」 武良布枝
- 8 「おとなママの会話術」 辰巳渚
- 9 「ゴンちゃん、またね。」 ビートたけし
- 9 「沈黙のパレード」 東野圭吾
- 9 「思い出が消えないうちに」 川口俊和
- 9 「下町ロケット 4 ヤタガラス」 池井戸潤
- 9 「少女たちは夜歩く」 宇佐美まこと
- 9 「最終標的」 笹本稜平
- 9 「黄金の代償」 福田和代
- 9 「宴の前」 堂場瞬一
- 9 「どんまい」 重松清
- 9 「銀河食堂の夜」 さだまさし
- 9 「春は始まりのうた」 小路幸也
- 9 「エムエス」 今野敏
- 9 「最後の『愛してる』」 前田朋己
- 9 「ことことこーこ」 阿川佐和子
- 9 「30センチの冒険」 三崎亜記
- 9 「一緒にお墓に入ろう」 江上剛

※左側の数字は図書の分類を表しています。

0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学  
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

### 児童図書



- 「かいけつゾロリ大図鑑キャラクター大全」 原ゆたか
- 「アリになった数学者」 森田真生
- 「リスのたんじょうび」 トーン・テレヘン
- 「そらのかんちゃん、ちていのコロちゃん」 東直子
- 「天皇と元号の大研究 -日本の歴史と伝統を知ろう-」 高森明勅
- 「クリスマスのあかり -チェコのイブのできごと-」 レンカ・ロジノフスカ
- 「伝説の巨大ハリケーン」 メアリー・ポープ・オズボーン
- 「ぼくらの一歩 -30人31脚-」 いとうみく
- 「プーと大人になった僕」 エリザベス・ルドニック

### 絵本



- 「いちご」 こがようこ
- 「ノラネコぐんだん おばけのやま」 工藤ノリコ
- 「うずらかあさんとたまご」 島野雫
- 「もえよドラゴン」 手塚治虫
- 「とりかえっことりかえっこ」 ふくだじゅんこ
- 「神様のプレゼント」 菊武由美子
- 「おばあちゃんのおくりもの」 キャリー・ガラッシュ
- 「タローズ」 モラグ・フッド
- 「おばけれっしゃ」 しのだこうへい

★このほかにもたくさんの図書が入っております。  
図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、  
そちらもぜひご覧ください。

### 11月の休館日

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |

### 12月の休館日

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 |    |    |    |    |    |

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00      は休館日

ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>

メールアドレス [tosyo@city.sukumo.lg.jp](mailto:tosyo@city.sukumo.lg.jp)